

ユーザーレポート

ゼロ
0の証明

家族の愛と科学が導く「安全の決意」

個人

飲酒依存症の父と歩む再生の道 — インターロック導入で得た安心と希望

このレポートは、長年の飲酒問題と向き合い、アルコール・インターロック装置の導入を決断したあるご家族の記録です。そこには、ご本人（60代半ばの父親）の深刻な健康状態、ご家族の深い葛藤、そして「もう二度と加害者・被害者を出さない」という強い覚悟が込められています。ご家族の愛とテクノロジー、そして周囲の温かい支援がどのようにして安心を取り戻したのか、その切実な道りをご紹介します。

ご利用機器

カメラ付き
アルコールインターロック装置

ALC-ZERO II



テクノロジーと愛が導いた「安全の決断」 インターロック導入へのきっかけと本人の思い

この切実な状況の中、かかりつけの内科医やケアマネージャー、地域包括支援センターの職員といった周囲の手助けから、「アルコール・インターロック」の存在を知ります。これは、呼気中のアルコール濃度が基準値を超えていると車のエンジンがかからない仕組みです。



繰り返された病の試練と家族の不安 深刻化する健康状態と孤独な生活

ご本人は現在65歳前後。数年前に長年勤めた運送業を退職後、生活リズムが崩れ、飲酒量が増加しました。現在は離婚され、お一人暮らしです。健康状態は極めて深刻で、今年に入ってすでに4回もの短期入院を経験されています。主な原因は、腎臓機能の低下や、アルコールによる脳の萎縮傾向です。食事よりも飲酒を優先するため低栄養状態が続き、ふらつきや立ち上がり困難な日が多くなっています。昨年、精神科でアルコール依存症の診断を受けましたが、医師との相性が合わず、現在も依存症治療（薬物療法やプログラム）は継続されていません。お酒と薬の併用、そして「独自のまとめ飲み」といった不適切な服薬パターンもあり、ご家族の不安は尽きません。



「いつか事故を…」家族を追い詰めた不安

ご家族の心に最も重くのしかかっていたのは、飲酒運転による「第三者被害リスク」でした。ご本人のご自宅周辺には学校もあり、「もし事故を起こしたら、加害者にも被害者にもなってしまう」という想像が、ご家族全員の夜の眠りを奪いました。娘さんは、「もう二度と、あんな思いはしたくない」と語ります。ご家族が何度止めても「大丈夫だ」「少しだけだ」と聞く耳を持たない父親の姿に、口論を重ねる日々でした。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

本人の前向きな受容

父親は当初「そこまでしなくても」と反発しましたが、娘さんが泣きながら「お願いだから、もうやめて」と必死に訴えた姿に、自分の行動がご家族に与えていた苦しみを初めて実感したと言います。さらに、ご本人が元運送業でアルコール検査の文化に馴染みがあったこともあり、「新しい機械」としてアルコール・インターロックを比較的スムーズに受け入れられました。現在も、試験的な操作を行うなど前向きな姿勢が見られます。

コストの認識

ご家族は、導入費用について「一度飲酒運転で捕まったら、それ以上の費用がかかる」「罰金回避や安全性向上の観点から、妥当な費用だ」と、その費用対効果を肯定的に評価しています。

「自由の概念の再定義」と家族の覚悟

インターロックは、単なる機械ではなく、ご家族に「安心と希望を与えてくれる存在」となりました。

ご家族は、お父様の「車の自由」と「安全」のバランスについて深く議論し、「加害者化の回避を最優先」とする方針で一致しました。

そして、飲酒運転抑止を確実にするため、ご家族が鍵を回収・管理する措置も講じました。また、車両整備店との信頼関係が強固であり、遠距離にある中でも保守・書類対応を継続支援してもらっています。

ユーザーレポート

ゼロ
0の証明

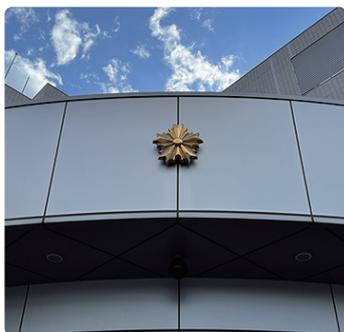
個人

安全を守るための支援と行政への対応 免許更新と「最安全な選択」

ご家族は、お父様の免許更新(9月～10月期)に向けて、行政と綿密な相談を重ねました。

警察・免許センターへの働きかけと 予期せぬ経緯

家族の安全と社会的責任を第一に考え、事前に免許センターや警察へ「アルコール依存症の診断」の事実を伝えました。更新時には診断書の提出が求められる見込みであり、ご家族としても飲酒運転抑止のため、免許の停止や自主返納といった「最安全な選択」を支持する覚悟を固めていました。しかし、実際の更新手続きでは行政側の伝達漏れという不測の事態が発生し、結果として免許が更新される形となりました。



家族としての決意と感謝

行政との連携には制度上の難しさがあることを痛感する一方で、親族間でも理解を得るのが難しいこの問題に対し、真摯に向き合い理解を示してくれた警察関係の方の存在は、大きな救いとなりました。専門的な助言をいただき、「自分一人で抱え込まなくていいんだ」という心強さを実感できたことは、計り知れない支えとなっています。この経験を経て、制度だけに委ねるのではなく、「自分たちの手で父を守り抜く」という想いはより一層強まりました。理解ある協力者への感謝を糧に、家族一丸となって父の安全を支え続けていく決意です。

多角的な支援体制の構築 福祉の力と兄弟姉妹の関与

現在はヘルパーが週数回訪問し、生活を支援しています。また、デイサービスに通い始め、同年代の仲間と交流することで、生活に新たなリズムが生まれています。

さらに、兄弟姉妹が過度に関与することによる後悔や感情的な負担を避けるため、末子の方が窓口となり、定期報告を通じて関与の度合いを調整するという、距離感を保ちながら支える仕組みを構築しています。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

安心のその先へー社会を変える小さな挑戦

娘さんは最後に、「アルコール・インターロックは、ただの機械ではありません。私たち家族にとっては、安心と希望を与えてくれる存在です」と語ってくれました。

私達は、「海外では飲酒運転検挙者へのアルコール・インターロック装着は義務化なのに、日本は罰金中心で制度が遅れている」という現状に強い危機感を抱いています。ご家族の安全対策を「法改正による加害者・被害者ゼロ社会の実現」という社会全体の安全保障へと進化させることを目指しています。インターロックの導入は、ご家族に安心をもたらし、さらに大きな目標に挑んでいます。

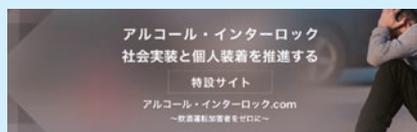
このご家族のように、悩みながらも一歩を踏み出した人たちの声と、それらを支える技術、そして社会への願いが、未来の飲酒運転防止策を築く希望となっています。

飲酒運転に悩まれたら、アルコール・インターロックをご検討ください。



取材ご協力

家族を守る方法の手段として、
アルコール・インターロックを導入された
Mさんご一家



東海電子WEBサイト
【アルコール・インターロック.com】
<https://alcohol-interlock.com/>



LINE 公式アカウント

@700xyfip

大切な人の飲酒運転で
悩まれていたら…
いつでも LINE で
ご相談ください!

